

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	コード	作成者	役職	環境課長
		05-09-38	野道徹也	氏名	野道徹也
				電話	0869-64-1821・1822
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

この施策の アピール ポイント	市内に資源回収ステーションを設置し、新たなおみ分別・9種23分別に取り組んでおり、燃やすごみや埋立されるごみが減量化され、資源化が進んでいる。備前・吉永地域では、市職員が直営でごみを収集しており、きめの細かいサービスが提供できている。
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

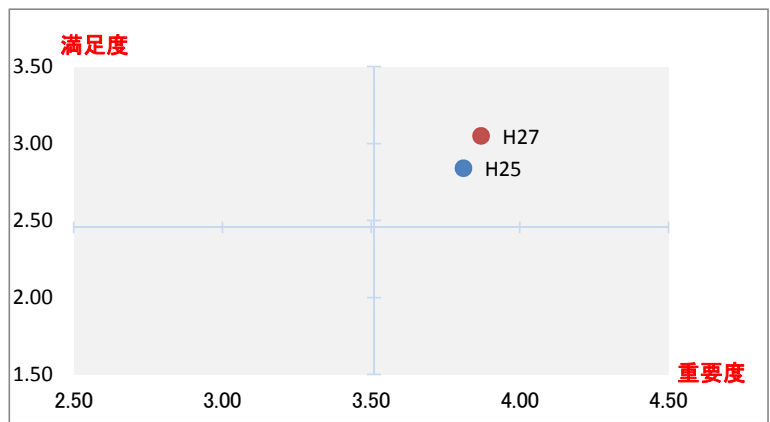
この施策の 平成26年度の 施政方針	市内全域でごみの減量化、資源化に向けた新たなおみ分別に市民の協力を得ながら取り組んでまいります。また、し尿処理については、老朽化している衛生センターを汚泥再生処理センターとして更新を進めてまいります。
--------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画（中項目）	09 環境を大切に未来につなぐまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、事業者、市が一体となって、廃棄物の減量化、資源化と適切な処理に取り組み、循環型社会を実現する環境美化意識を向上させ、美しい自然や良好な景観を保つ	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理については、ごみの減量化に向け、さらなる分別・リサイクルの推進に取り組む必要がある</li> <li>し尿・浄化槽汚泥については、備前・日生地域が備前市衛生センター、吉永地域が和気赤磐衛生センターで共同処理している。</li> <li>不法投棄防止のため、環境美化への意識を高めていく必要がある</li> </ul>	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別の徹底</li> <li>リサイクルの推進</li> <li>ごみの発生、排出抑制</li> <li>施設の適正運営と計画的な更新</li> <li>環境美化</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.81	3.87
満足度 (%)	2.84	3.05



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度・満足度ともに高くなっている。リサイクルにもう少し力を入れてほしいとの意見があり、更なるリサイクルの取り組みが必要。また、新たなおみ分別を平成22年度中旬から取り組んでおり、かなりの地域が協力してくれている。まだ取り組んでもらえない地域については、引き続き粘り強く説明をしていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
成果指標 市民1人当たりのごみの総排出量	目標	kg	310	307	304	排出量の推移により課題が見つかる	H27	300
	実績	kg	296	301	298		H28	296
	達成率	%	104.5	102.0	102.0		H34	293
	ベンチマーク						—	—
参考指標① 可燃ごみの量	目標	トン	8,500	8,330	7,795	施設管理に有益	H27	7,540
	実績	トン	8,176	8,160	7,831		H28	7,292
	達成率	%	103.8	102.0	99.5		H34	6,527
	ベンチマーク						—	—
参考指標② ごみの資源化量	目標	トン	3,214	3,223	3,225	分別の成果指標の一つとなる	H27	3,227
	実績	トン	2,732	2,661	2,768		H28	3,230
	達成率	%	85.0	82.6	85.8		H34	3,026
	ベンチマーク						—	—
参考指標③ 不法投棄の件数	目標	件	20	20	20	環境美化への意識指標の一つとなる	H27	20
	実績	件	23	20	16		H28	20
	達成率	%	85.0	100.0	120.0		H34	18
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
下水道課	公共下水道・合併処理浄化槽の早期整備	下水道の整備の普及状況により影響される
備前市	可燃ごみ(生ごみ・剪定枝等)分別資源化	可燃ごみの内、生ごみ・剪定枝等を分別資源化することで、可燃ごみの減量化が図られ、施設の延命化に繋がる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	ごみの排出抑制と新たな分別に取り組むことにより、市民1人あたりのごみの総排出量が減量し、資源化量が増えていくほど、循環型社会の実現に向かっていくことになり、指標として妥当である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4	この施策は住民生活に密接に関わるもので、各事業は目的達成のため必要な事業である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	年間焼却量の目標は達成している。資源化量は分別収集の普及と資源回収団体が資源ごみを回収しているものの、目標を達成していない。ごみの減量化、資源化については、今後も取り組んでいかなければならない。	
進行年度(H27年度)の取組内容 (課題解決状況)		<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化、資源化のため、平成22年度から取り組んできた新たなおみ分別は、日生・吉永地域では概ね100%完了している。備前地域は、約90%に向上しているが、100%に向けて今後も継続して推進していく。</li> <li>日生、備前の一般廃棄物最終処分場の効率よい運用</li> <li>ごみ処理施設大規模改修の基本設計</li> </ul>	
翌年度(H28年度)の取組目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きごみの減量化、資源化のため、資源ごみ回収推進団体の増加を図る。</li> <li>日生、備前の一般廃棄物最終処分場の効率よい運用</li> <li>ごみ処理施設大規模改修の工事発注</li> </ul>	
二次評価者コメント		ごみ処理施設の大規模改修を行うに当たり、工事期間の代替ごみ焼却など市民生活に支障の出ないよう配慮していただきたい	基本施策への 貢献度 <b>4 やや高い</b>
役職	市民生活部長		
氏名	藤原弘章		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位:千円,人)										施策への 貢献度
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
01 循環型社会推進事業	循環型社会推進事業	単市	6,141	3,830	0.46	0	3,974	0.48	0	1,124	0.14	0	☆☆☆☆
	資源ごみ回収推進事業	単市	7,787	245	0.04	7,428	757	0.10	7,428	408	0.09	7,750	☆☆☆☆
	廃棄物減量化・資源化対策等推進事業	単市	65	261	0.03	110	872	0.11	0	0	0.00	91	☆☆☆☆
	生ごみ処理容器購入費補助事業	単市	524	61	0.01	332	594	0.07	422	224	0.05	650	☆☆☆
02 ごみ処理施設管理事業	備前ごみ処理施設維持管理事業	単市	101,457	25,943	3.67	100,810	26,714	3.73	79,759	24,939	3.73	87,481	☆☆☆☆
	日生ごみ処理施設維持管理事業	単市	23,793	966	0.14	26,807	555	0.07	24,588	482	0.06	24,992	☆☆☆☆
	不燃物前処理事業	単市	25,992	6,004	0.91	25,948	5,851	0.89	25,450	3,855	0.56	26,400	☆☆☆
	備前最終処分場維持管理事業	単市	13,864	9,094	1.89	13,295	10,683	2.19	6,543	8,940	1.92	10,778	☆☆☆☆
	日生最終処分場維持管理事業	単市	11,027	1,032	0.12	42,770	977	0.12	11,176	335	0.04	11,385	☆☆☆☆
	東備環境施設連絡協議会負担金	単市	20	0	0.00	20	0	0.00	0	80	0.01	0	☆☆
	廃棄物処理施設技術管理者協議会会費	単市	30	0	0.00	30	0	0.00	30	0	0.00	30	☆☆
	岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	単市	30	0	0.00	30	0	0.00	30	0	0.00	30	☆☆
	岡山県適正困難処理指定廃棄物対策協議会負担金	単市	20	0	0.00	20	0	0.00	20	0	0.00	20	☆☆
	職員研修会等参加負担金	単市	136	0	0.00	109	0	0.00	38	0	0.00	48	☆☆☆
03 生活環境改善事業	環境衛生改善補助事業	単市	7,154	955	0.11	7,144	1,902	0.24	7,663	883	0.11	8,850	☆☆☆☆
04 塵芥収集事業	塵芥収集事業	単市	81,413	77,757	13.76	81,694	82,124	13.50	84,243	112,562	17.57	90,101	☆☆☆☆
	指定ごみ袋事業	単市	16,717	2,307	0.30	21,698	2,274	0.29	26,109	1,923	0.25	27,962	☆☆☆☆
	苦情処理事務	単市	0	662	0.08	0	396	0.05	0	803	0.10	0	☆☆☆☆
05 和気北部衛生施設組合負担金事業	和気北部衛生施設組合負担金	単市	66,096	409	0.04	56,493	2,382	0.21	0	224	0.02	0	☆☆☆
06 ごみ処理施設整備事業	ごみ処理施設整備基金積立事業	単市	10,000	0	0.00	10,005	0	0.00	10,012	0	0.00	11	☆☆☆
	ごみ処理施設整備事業	単市										26,500	☆☆☆☆
07 し尿処理施設維持管理事業	し尿処理施設維持管理事業	単市	29,704	24,823	3.08	25,512	21,084	3.15	27,424	29,113	4.24	32,851	☆☆☆☆
	岡山県し尿処理施設協議会事業	単市	0	106	0.01	0	106	0.01	0	112	0.01	0	☆☆☆
08 和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業	和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金	単市	12,022	110	0.01	10,344	224	0.02	10,049	112	0.01	10,137	☆☆☆
09 し尿処理施設整備事業	し尿処理施設整備事業	補助	3,578	3,042	0.31	4,832	1,644	0.16	199,565	1,849	0.22	803,358	☆☆☆☆
10 放置自動車・自転車対策事業	放置自動車対策事業	単市	16	238	0.03	0	79	0.01	0	80	0.01	137	☆☆
	放置自転車対策事業	単市	0	123	0.02	0	379	0.05	0	555	0.11	0	☆☆
	使用済自動車等海上輸送費補助金	補助	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	18	☆☆
11 環境衛生事業	環境衛生指導委員会事業	単市	3,677	2,471	0.32	3,690	1,991	0.22	3,678	2,735	0.39	3,315	☆☆☆☆
	環境衛生事業	単市	1,327	2,347	0.31	1,602	2,403	0.27	2,400	734	0.19	904	☆☆☆
	不法投棄処分事業	単市	92	615	0.07	98	238	0.03	22	615	0.18	100	☆☆☆☆
	墓地経営許可事業	単市	0	159	0.02	0	158	0.02	0	0	0.00	0	☆☆
	諸島地区汲取り支援事業	単市	33	0	0.00	124	0	0.00	60	0	0.00	120	☆☆☆
	諸島地区葬祭事業費補助金	単市	96	0	0.00	16	0	0.00	0	0	0.00	43	☆☆☆
	県環境衛生協会東備支部負担金	単市	378	0	0.00	378	0	0.00	378	0	0.00	378	☆☆
	日生地区清掃支援事業	単市	0	320	0.04	0	0	0.00	0	108	0.01	0	☆☆☆☆
	東備食品衛生協会助成金	単市	80	0	0.00	80	0	0.00	80	0	0.00	80	☆☆
	苦情処理事務	単市	0	676	0.08	0	581	0.06	0	590	0.07	0	☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位:千円,人)			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
			423,269	164,556	25.86	441,419	168,942	26.05	527,167	193,385	30.09	1,174,520	

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・規程等		循環型社会形成推進基本法	
事業開始年度					
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	担当課(室)	環境課
	中項目 基本計画	09	環境を大切にすて未来につなぐまち	職・氏名	衛生係長・青木克行
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	電話	64-1821
事務事業名	01	循環型社会推進事業	このシート作成に要した時間		1.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	全ての市民及び市内事業者
目的(何のために)	ごみ減量化・資源化の意識を高めるために、発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)をすることで循環型社会の構築を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	生ごみ処理容器の普及や資源ごみの集団回収活動の拡大を図ることで、ごみの減量化・資源化を促進し、循環型社会構築に向けた意識改革を促す。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		
	循環型社会推進事業	環境衛生指導委員会などの関係団体と協力し、ごみの減量化・資源化に対する市民意識の向上を図るとともに、ごみの減量化・資源化に向けて必要な制度作りを行う。		◎
	資源ごみ回収推進事業	廃棄物の資源化を推進するため、町内会等が自主的に行う資源回収に対し、報奨金を支払う。		◎
	廃棄物減量化・資源化対策等推進事業	備前市廃棄物減量化資源化対策等推進協議会を設置し、廃棄物の減量化・資源化を行うための調査及び研究、啓発活動等を協議する。		◎
	生ごみ処理容器購入費補助事業	生ごみの資源化を推進するため、コンポストや生ごみ処理機の購入費に対し助成を行う。		○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	14,517	7,870	7,850
	必要人員	人	0.54人	4.397	0.28人
	事業費	千円	18,914	14,067	9,606
	財源	千円			
	国・県支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他( )				
	一般財源		18,914	14,067	9,606
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	生ごみ処理容器購入台数	台	電動生ごみ処理機及びコンポスト・ポカシ容器の購入台数		
	結果指標量	台	76	51	47
	対前年比	%	-	67.1%	92.2%
	活動コスト	円	523,600	331,700	422,100
単位当たりコスト	円	6,889	6,504	8,981	

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
資源ごみ回収量(単位:ト)	目標値(A)	1,830	1,700	1,700	1,700
	実績値(B)	1,557	1,486	1,486	到達目標値
	達成率(B/A)	85.08%	87.41%	87.41%	1,900
成果指標設定の考え方・式や説明					
資源ごみ回収推進団体が回収した資源ごみ量					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市市民ニーズ	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やいい 高 低 低 高 A
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やいい 高 低 低 高 B	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やいい 高 低 低 高 B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進捗年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	循環型社会推進事業について、資源ごみ回収量の拡大を軸とした新しいごみ分別【9種23分別】の導入により、ごみの減量化・資源化を推進する。 生ごみ処理容器購入補助金について、利用者数が減少傾向であるため、広報紙で制度を周知し、利用促進を図る。 資源ごみ回収推進団体について、広報紙で登録を呼び掛け、更なる回収量の拡大を図る。						

総合評価	
循環型社会の構築は、今後とも推進する必要がある。多様化してくる。それらの需要に答えるため、現行の制度の見直しを繰り返しながら推進していく必要がある。 生ごみ処理容器購入補助金や資源ごみ回収推進団体報奨金はともに市民に好評な事業であり、直接的にごみの減量化・資源化につながるだけでなく、リサイクル意識の向上にもつながるため、今後も継続が望まれる。 また、新しいごみ分別【9種23分別】の未実施地区については、早期完全導入の普及に努め、ごみの減量化・資源化に向けた体制を整備する必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やいい 高 低 低 高 B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	新しいごみ分別【9種23分別】の導入拡大を図る。 生ごみ処理容器購入補助金制度の推奨を行う。 資源ごみ回収推進団体の増加を図る。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな



備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業開始年度			
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築
事務事業名	02	ごみ処理施設管理事業	2.5 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内事業者	
目的 (何のために)	適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	施設の安定的な稼働。 ダイオキシン類等を排出基準以下で適正に焼却する。 不燃ごみの再資源化、埋立処分量の削減。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
備前ごみ処理施設維持管理事業	備前ごみ処理施設の維持管理を行う。	◎	
日生ごみ処理施設維持管理事業	日生ごみ処理施設の維持管理を行う。	◎	
不燃物前処理事業	不燃物前処理施設の維持管理を行う、不燃ごみの選別を行う。	◎	
備前最終処分場維持管理事業	備前最終処分場施設の維持管理を行う。	◎	
日生最終処分場維持管理事業	日生最終処分場施設の維持管理を行う。	◎	
東備環境施設連絡協議会負担金	備前市・赤磐市・和気北部衛生施設組合のごみ処理施設職員の技術の向上と相互の融和団結を図る。	○	
廃棄物処理施設技術管理者協議会会費	廃棄物の処理に関する調査、研究及び技術の研鑽を行い、協議会会員の資質を図る。	○	
岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	県内の自治体が入り、廃棄物処理施設の整備等の促進を図る。	△	
岡山県適正処理施設特定廃棄物処理協議会負担金	適正処理困難物及び災害廃棄物の処理について会員相互による協力、支援体制の構築を目的とする協議会への加入。	△	
職員研修会等参加負担金	職員の技術向上のための研修参加負担金	○	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	178,036	209,839	147,634
	必要人員(人)件費	千円	6.73人	7.00人	6.32人
	事業費計		221,069	254,619	186,265
決算額	国県支金				
	受益者負担		8,095	8,545	10,040
	繰入金				
	その他(一般財源)		11,060	10,046	10,540
受益者負担比率	%	3.7%	3.4%	5.4%	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	t	6,096	6,150	8,113
	対前年比	%	-	100.9%	131.9%
	活動コスト	円	101,693,513	100,912,668	81,510,844
	単位当たりコスト	円	16,682	16,409	10,047

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
最終処分場の資源化率	目標値 (A)	23.00%	23.00%	23.00%	25.00%
	実績値 (B)	27.25%	22.43%	25.72%	到達目標値
	達成率 (B/A)	118.48%	97.52%	111.83%	26.00%
成果指標設定の考え方・式や説明					
最終処分場の資源化量/最終処分場搬入量 (焼却灰を除く)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法 (派遣・委託含) を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度		B

進行年度 (H27年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	・H26年度から吉永地区を加えた全市でのごみ処理が実施されたため、今後ともさらなるごみ処理体制の見直しが必要である。 ・ごみ処理計画と地元との協議内容に鑑み、将来的な施設の運用方法やごみ処理体系について検討する。						

総合評価		Action
施設	施設の安定的な稼働を行うには、定期的な点検や補修工事等が重要であり、計画的に修繕を行うことで施設の延命化や維持管理コストの削減を図ることができる。また、新たな分別の導入地区を拡大することでごみの資源化・減量化を推進している。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	市内のごみ処理施設は、それぞれ大規模改修や閉鎖に向けた検討が必要な時期となっており、将来的な施設の運用方法やごみ処理体系に鑑み、効率的な施設運営に向けた協議、設計等を行う必要がある。また、新たなごみ処理施設の整備に向けた事業の展開を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、成果指標に留意しながら数値目標を設定

備前市事務事業評価シート

<b>事業の概要</b>			根拠法令・例規等 備前市ごみ置場整備改良事業補助金 交付要綱 等
事業開始年度	昭和49年～		
総合計画 大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	
中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち	
小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	
事務事業名	03	生活環境改善事業	問合先 担当課(室) 環境課 職・氏名 衛生係長・青木克行 電話 64-1821 このシート作成に要した時間 1.5 時間

<b>事業の目的</b>		Plan
対象(誰・何に対して)	清潔で快適な暮らしを求める市民	
目的(何のために)	地区が管理するごみ置場、共同墓地の整備費用の一部を補助する事により、生活環境の改善及び使用者の利便を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ごみ置場を設置することにより、収集効率が向上し、環境美化が図れる。地区管理墓地が整備されれば、利用者の利便が向上する。	

<b>事業の実績</b>			Do
	細事業名	事業の説明	
目的を達成するために実施した事業	環境衛生改善補助事業	ごみ置場、ごみ置場給水施設の設置に伴う補助金の交付(ごみ置場整備改良事業補助金) 資源回収ステーション設置に伴う補助金の交付(資源回収ステーション設置事業補助金) 共同墓地の水道施設設置、駐車場施設設置及び墓参道整備工事に伴う補助金の交付(地区管理墓地整備補助金)	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	直接事業費	千円	7,154	7,144	7,663
	必要人員	人員	人	0.11	0.24	0.11
	事業費	費	千円	8,109	9,046	8,546
	財源	国県支金	千円			
		受益者負担				
		繰入金				
		市債				
		その他( )				
		一般財源				
		受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	ヶ所		16	13	13
	対前年比	%		-	81.3%	100.0%
	活動コスト	円		2,003,920	1,809,754	1,666,160
	単当たりコスト	円		125,245	139,212	128,166

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

<b>事業の成果</b>					
(平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
ごみ置場整備改良事業におけるごみ置場設置数	目標値(A)	18	18	18	18
	実績値(B)	16	13	13	到達目標値
	達成率(B/A)	88.89%	72.22%	72.22%	18
成果指標設定の考え方・式や説明					
ごみ置場及び給水施設設置数 ※到達目標値について、各地区(9地区)で年間2件の設置を目標とする。					

<b>事務事業の評価</b>		該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低いや通や低い B
	必要性	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低いや通や低い C
効果性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低いや通や低い B
	市民参画度		

当該事業の目的、効果性を評価する際の留意点

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	家庭ごみの収集について、「拾い」(ごみ集積所ではなく、各家庭ごとに収集を行うこと。)が依然として目立つ。環境衛生指導委員と協力し、ごみ集積所設置場所の検討を行い、未整備地区への設置数の増加を図る。資源回収ステーションの設置の推進を図る。					

<b>総合評価</b>		総合評価 A B C D E 高や普や低いや通や低い B
設置(補助)数は進んでいるものと思われるが、片上・伊里地区において、「拾い」が依然として目立つ。予算にも限りがあるが、要望を踏まえつつ、緊急性のある地区、未整備地区を重点的に整備を進めていき、最終的に「拾い」ゼロを目指す。資源回収ステーションの設置を図り、ごみの減量化・資源化の推進を図る。		

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
取組目標	・「拾い」の集約化及びごみ集積設置場所の選定など緊急性のある地区、未整備地区の整備を進め、最終的に「拾い」ゼロを目指す。 ・備前地域全域に資源回収ステーションの設置を図り、ごみの減量化・資源化の推進を図る。					



備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	昭和41年度～	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 和気北部衛生施設組合規約	
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	09	環境を大切に将来につなぐまち
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築
事務事業名	05	和気北部衛生施設組合負担金事業	
		問 担当課(室)	環境課
		先 職・氏名	衛生係長・青木克行
		電 話	64-1821
		このシート作成に要した時間 1.0 時間	

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	ごみ(一般廃棄物)の処理を必要とする日生地域の市民・市内事業者。 ごみ(一般廃棄物)の収集・処理を必要とする吉永地域の市民・市内事業者。
目的 (何のために)	日生地域及び吉永地域で発生するごみ(一般廃棄物)を適正に処理するため、和気北部衛生施設組合(備前市・和気町・赤磐市で構成)に加入し、分担金を納付する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	組合で運営するごみ処理施設において、日生地域・吉永地域のごみ処理を適正かつ効率的に行う

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	和気北部衛生施設組合負担金		◎
		和気北部衛生施設組合で運営するごみ処理施設の建設費及び運営費、跡地整備費を構成市町で分担し、納付する。		

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	66,096	56,493	0
	必要人員	人	0.04人	0.21人	0.02人
	事業費計	千円	66,505	58,875	224
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他( )	千円			
	一般財源	千円	66,505	58,875	224
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	ごみ処理量	説明	ごみ処理施設の経常費分担金を活動コストとして、単位当たりのごみ処理費用を算出		
	結果指標量	t	2,376	2,355	0
	対前年比	%	-	99.1%	0.0%
	活動コスト	円	47,532,000	38,591,000	0
	単位当たりコスト	円	20,005	16,387	#DIV/0!

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
		目標値(A)			
		実績値(B)			到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
成果指標設定の考え方・式や説明					
負担金は、規約に基づき均等割、人口割、利用量割によって算出されており、他の構成市町の動向にも左右されるため、成果指標を掲げることは難しい。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	H25年度末で和気北部衛生施設組合におけるごみ処理業務は廃止されたため、H26年度からは本事業は実施していないが、残務整理の為に人件費が発生した。						

総合評価	
日生地域及び吉永地域で発生するごみ(一般廃棄物)を適正に処理するため、和気北部衛生施設組合(備前市・和気町・赤磐市で構成)に加入し、分担金を納付していたが、平成26年3月末で、組合におけるごみ処理業務は廃止された。 今後は組合で実施していたごみ収集業務(吉永地域)及びごみ処理業務(日生・吉永地域)を、ごみ処理施設維持管理事業及び塵芥収集事業で実施し、全市で統一したごみ処理を実施するとともに、ごみ処理経費の削減を目指す。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	○						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を定めるための成果指標を設定し、その有効性を評価する







備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年度～	根拠法令・規程等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問	担当課(室)
	中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち	合	職・氏名
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	先	職・氏名
事務事業名		07	し尿処理施設維持管理事業	電話	64-1821
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前地域・日生地域で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者	
目的 (何のために)	備前地域・日生地域にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	し尿処理施設を適切に維持管理することで、し尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理する	

事業の実績		Do	
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	し尿処理施設維持管理事業	備前・日生地域で発生したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、し尿処理施設を維持管理する	◎
	岡山県し尿処理施設協議会事業	し尿処理施設の管理、運営、整備等について研修等を行い、管理者のスキルアップを図る。	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	29,704	25,512	27,424
	必要人員	人	3.09人	3.15人	4.25人
	事業費計	千円	54,633	46,596	56,649
財源	国県支	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他( )				
一般財源		54,633	46,596	56,649	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	し尿及び浄化槽汚泥処理量	KL	10,985	10,397	10,495
	対前年比	%	-	94.6%	100.9%
	活動コスト	円	54,633,000	46,596,000	56,649,000
	単位当たりコスト		4,973	4,482	5,398

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
1klあたりの処分費	目標値(A)	5000	5000	5000	4500
	実績値(B)	4,973	4,482	5,398	到達目標値
	達成率(B/A)	99.47%	89.63%	107.95%	4500
成果指標設定の考え方・式や説明					
処分費用(施設維持管理費+人件費)/し尿及び浄化槽汚泥の処理量					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い
市民参画度			B

事業の目的、意図する成果やその数値目標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	現施設の運営にあたっては、コストの削減に努め、法令を順守し適正な処理を行う。 搬入汚泥量の減少とこれに伴う日搬入量の変動が大きくなっているため、計画的に処理日数を削減し、処理量の安定を図る。 新設の汚泥再生処理センターへのスムーズな移行を検討する						

総合評価		総合評価
下水道の普及等によりし尿・浄化槽汚泥の収集・処理量は減少すると予測されるが、法令に基づき今後も事業を継続する必要がある。 施設の運営にあたっては、運転方法の改善に積極的に取り組み、汚泥の処分方法を施設内焼却から民間委託でのコンポスト化に切り替えるなど、環境負荷の低減とコストの削減に努めているが、施設の老朽化も進み、今以上のコスト削減は困難である。 現施設は稼働開始からすでに40年が経過し、老朽化が著しいため、施設更新を進めており、平成27年度末の稼働を目指している。		総合評価 ABCDE 高や普通や低い や通や低い 高い
		B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	現施設の運営にあたっては、法令を順守し適正な処理を行う。 施設更新を目前に控えており、修繕料等を必要最小限に抑えコスト削減に努める。						

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組 合規約
事業開始年度	平成17年度～		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」
	中項目 基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築
事務事業名	08	和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業	1.0 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	吉永地域で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者
目的 (何のために)	吉永地域にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理するため、和気赤磐し尿処理施設一部事務組合（備前市・和気町・赤磐市で構成）に加入し、負担金を納付している。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	組合で運営するし尿処理施設において、吉永地域のし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理する。

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	12,022	10,344	10,049
	必要人員	人	0.01	0.02	0.01
	事業費計	千円	12,132	10,568	10,161
財源	国・県支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
一般財源	市債				
	その他( )				
	一般財源		12,132	10,568	10,161
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	し尿及び浄化槽汚泥処理量	説明	し尿処理施設の経常費分担金を活動コストとして、単位当たりのし尿・浄化槽汚泥の処理費用を算出		
	結果指標量		241	249	276
	対前年比	%	-	103.3%	110.8%
	活動コスト	円	6,320,000	5,967,000	6,626,000
	単位当たりコスト		26,224	23,964	24,007

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

Plan

Do

(平成26年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
		目標値 (A)				
		実績値 (B)				到達目標値
		達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明						

負担金は、規約に基づき均等割、人口割、利用量割によって算出されているが、吉永地域の下水整備はすでに完了しており、今後利用量が大幅に変動することは望めない。また他の構成市町の動向にも左右されるため、成果指標を掲げることは難しい。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

事業の目的やその数値目標に留意しながら有効性を評価

進捗年度 (H27年度) の改革改善内容	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約に基づき、し尿処理施設及び公園（吉井川ふれあいパーク）の建設費・運営費の分担金を納付する。 H27年度末に組合脱退をし、吉永地域を含めたし尿処理を単市で実施できるよう関係機関と調整を行う。

総合評価	
市では吉永地域のし尿・浄化槽汚泥の処理を行うため、和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合に加入し、構成団体として施設の管理、運営費の分担金を納付している。吉永地域の下水整備はすでに完了しており、今後、し尿・浄化槽汚泥の処理量が大幅に減少することは望めないため、今後も事業を行う必要がある。 現在、市内のし尿・浄化槽汚泥の処理は、備前・日生地域は直営施設で、吉永地域は組合に委託して実施しているが、市全体でのし尿処理事業の見直しと効率化を図るため、直営施設の更新（平成27年度末完成予定）に併せ、組合を脱退し、本事業を完了するため調整を行っている。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い

平成28年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
取組目標	市が運営するし尿処理施設（備前市衛生センター）の更新に併せて、平成27年度末に組合を脱退し、単市での処理を実施する。

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成23年度～	根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 合 先	担当課(室)	
	中項目 基本計画	09	環境を大切にすて未来につなぐまち			環境課
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築			職・氏名
事務事業名		09	し尿処理施設整備事業	電 話	64-1821	
				このシート作成に要した時間	0.5 時間	

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	備前市で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者	
目 的 (何のために)	備前市にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	新たに汚泥再生処理センターを整備し、し尿・浄化槽汚泥とあわせて集落排水汚泥を処理するとともに、資源化設備においてリン回収等の資源回収を行い、市内での資源循環を進める。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細 事 業 名	事業の説明	優先度
	し尿処理施設整備事業	備前市で発生したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、新たに汚泥再生処理センターを整備する	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	3,578	4,832	199,565
	必要人員	人	0.31人	0.16人	0.22人
	事業費	千円	6,620	6,476	201,414
財源	国・県支出金	千円	2,660		
	受益者負担				
	繰入金(債)				
	その他( )				
	一般財源		3,960	6,476	201,414
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目標値 (A)				
	実績値 (B)				到達目標値
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	必要性	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	A

事業の目的、効果指標をその数値目標に留意しながら評価

進捗年度 (H27年度) の改革改善内容	
状 況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説 明	備前市衛生センターの老朽化に伴い、全域の処理一元化を図るため新たに施設整備を行う。

総合評価		総合評価
備前市汚泥再生処理センター整備工事を円滑に行う必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー

平成28年度の方向性・取組目標		Action
方 向 性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>	
取 組 目 標	施設の稼働に向けて、その運営に関しより良い運営体制を検討する。	

備前市事業事業評価シート

事業の概要
事業開始年度 平成11年度~
大項目 基本構想 05 生活環境政策「快適・活力」
中項目 基本計画 09 環境を大切に未来につなぐまち
小項目 施策 38 一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築
事務事業名 10 放置自動車・自転車対策事業

事業の目的
対象 (誰・何に対して) 公共の場所（公衆用道路等）
目的 (何のために) 放置自転車・自動車の発生防止と処分により、環境の美化と安全を図る
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) 放置自転車・自動車を無くすことにより、景観の保全と歩行者等の通行の安全性を確保する

事業の実績
事業名 事業の説明 優先度
放置自転車対策事業 放置自動車を処分する事業 ◎
放置自転車対策事業 放置自転車への警告、撤去、保管、処分する事業 ◎
使用済自動車等海上輸送費補助金 諸島地区に放置された使用済みの自動車の撤去のため使用した海上輸送費の補助事業 ○

事業費等
事業費 単位 平成24年度実績 平成25年度実績 平成26年度実績
必要人員 361 458 635
事業費計 377 458 635
受益者負担率 - - -
結果指標名 単位 平成24年度実績 平成25年度実績 平成26年度実績
結果指標量 台 28 24 12
対前年比 % - 85.7% 50.0%

事業の成果 (平成26年度事業)
成果指標名 年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度目標値
一人当たりの放置自動車数 目標値 (A) 0.06 0.06 0.06 0.06
実績値 (B) 0.07 0.07 0.03 到達目標値
達成率 (B/A) 116.67% 116.67% 50.00%

事務事業の評価
市との関与の妥当性 必要性 市民ニーズ コスト 有効性の評価
目的達成度 市民参画度

進行年度 (H27年度) の改革改善内容
状況 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明 市民からの通報があれば、警告札の取付け、撤去、処分の手順で迅速に対応する。

総合評価
市民からのニーズが高く、今後とも継続していく必要がある事業である。迅速な対応により同一場所での発生を抑制するとともに、景観の保全に努める必要がある。活動コストは主に人件費であるため、事務処理等の効率化を図り、コスト削減を心がける。
総合評価 C

平成28年度の方向性・取組目標
方向性 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標 市民からの通報があれば、警告札の取付け、撤去、処分の手順で迅速に対応する。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、効果等を評価し、その数値目標を定める



備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 昭和46年度～		根拠法令・規程等 備前市環境衛生指導委員規則
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室) 環境課 合 職・氏名 衛生係長・青木克行 先 電話 64-1821 このシート作成に要した時間 2.5 時間
	中項目 基本計画	09	環境を大切に将来につなぐまち	
	小項目 施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築	
事務事業名		11	環境衛生事業	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	清潔で快適な暮らしを求める市民	
目的 (何のために)	市民のボランティア活動の協力を得て、快適な生活環境の保持と環境美化の促進を図り、もって清潔で美しいまちづくりに資する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	家庭ごみの排出マナーの向上、不法投棄のないまちづくり、防疫による清潔なまちづくり	

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名		
	環境衛生指導委員会事業	環境衛生に関する様々な活動を円滑に行うため、環境衛生指導委員会を設置・運営する	◎
	環境衛生事業	ごみの排出指導や犬猫等死体収容、災害時の防疫作業(消毒)など、環境衛生に関する様々な業務を行う	◎
	不法投棄処分事業	不法投棄防止のための啓発活動や監視を行う 不法投棄があった場合は、適切な処理を行った後、必要に応じてごみの処分を行う	◎
	墓地経営許可事業	宗教法人、個人墓地を設置しようとする者に対し、適正な墓地整備を目的として、設置許可や指導を行う	○
	諸島地区汲取り支援事業	諸島地区でし尿汲取りを行うとき、バキューム車を運搬するための船代を助成する	○
	諸島地区葬祭事業費補助金	諸島地区に住む人が亡くなったとき、遺族に対し、葬祭のため本土に移動する際の船代を助成する	○
	県環境衛生協会東備支部負担金	備前市環境衛生指導委員会の上部組織である県環境衛生協会東備支部への負担金	△
	日生地区清掃支援事業	日生地域で地区清掃を行うとき、重機の借上料を支援する	△
	東備食品衛生協会助成金	地域における食品衛生指導委員の活動を助成するため、関係団体へ負担金を支払う	△
	苦情処理事務	環境衛生に関する様々な苦情・要望に対し、現場確認や指導など必要な対応を行う	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	直接事業費	千円	5,683	5,983	6,618
		必要人員	人	0.86人	0.60人	0.84人
		事業費	千円	12,391	11,353	11,400
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
繰		入金				
	市	債				
	一	般財源	12,391	11,353	11,400	
	受	益者負担比率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	人	258	254	256
	対前年比	%	-	98.4%	100.8%
	活動コスト	円	3,677,400	3,689,600	3,677,608
	単	位当たりコスト	14,253	14,526	14,366

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成26年度事業)					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値(A)	1200	900	900	800
	実績値(B)	860	860	690	到達目標値
防疫用薬剤配布数	達成率(B/A)	71.67%	95.56%	76.67%	800
成果指標設定の考え方・式や説明					
防疫薬剤の配布数(下水道が接続されていない地域を中心に、希望により防疫用薬剤を配布することにより衛生面の向上を促す。)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低いや通や低い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低いや通や低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低いや通や低い

事業の目的やその数値目標を評価する

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	環境衛生指導委員会、市民ボランティアの協力を得て、更なる環境衛生思想の普及を図る。不法投棄禁止の啓発					

総合評価		総合評価 ABCDE 高や普や低いや通や低い
防疫用薬剤については、使用方法の指導を行えば、配布数は減になり、コスト削減につながる。防疫用機械については、使用後の効果は1ヶ月ほどしかなく、成虫は殺せても卵までは殺せない。また油剤を使用するため、危険な機械である。貸出数は、年々減ってきているが、貸し出しには十分注意を図る必要がある。環境衛生指導委員会、市民ボランティアの協力を得て、不法投棄禁止の啓発や清掃奉仕など環境美化に努めている。		

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
取組目標	環境衛生指導委員会、市民ボランティアの協力を得て、更なる環境衛生思想の普及を図る。防疫用薬剤の使用法の指導を行い、配布数を減らしコスト削減につなげる。					

Action